



令和 3 年 7 月 28 日

奈良県田原本町

2050 年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す 「田原本町ゼロカーボンシティ宣言」

近年、気象災害が激甚化するなど地球温暖化の影響は深刻さを増しており、我々の生活基盤を揺るがす安全保障上の危機が生じています。

田原本町では、令和 3 年 3 月に「田原本町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を策定し、町が行う全ての事務事業や所有する全ての施設に関して二酸化炭素排出量の抑制に取り組んでいるところですが、町民や町内事業者と一丸となって脱炭素社会の実現に向けた地球温暖化に対処する取組をより一層推進するために、「2050 年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指す「田原本町ゼロカーボンシティ宣言」を行うことといたしました。

なお、同宣言は奈良県下市町村においては生駒市、天理市及び三郷町に続いて 4 団体目となります。

記

■ 宣言日 令和 3 年 7 月 28 日(水) 定例記者会見

■ 宣言文 別紙のとおり。

■ これまでの主な取組

- ・ 田原本町が行う全ての事務事業及び所有する全ての施設を適用範囲として、田原本町地球温暖化対策実行計画(令和 3 年 3 月)を策定し、各取組を推進
 - 「省エネルギー推進のための行動指針」等を策定し、役場職員の省エネ・省資源に係る取組を推進

【報道資料】

- 電力調達に際して、電気事業連合会等が定める二酸化炭素排出係数の目標値を下回る排出係数の電力を調達(排出係数が少なければ少ないほど電力を作り出す際の二酸化炭素排出量が少ない)
- ・ 町民の行動変容を促す取組を推進
 - 環境省「COOL CHOICE」へ賛同し、COOL CHOICE イベント用展示ツールを活用した VR 体験やパネル展示の実施
 - 町内に複数のリサイクル収集拠点を設置するとともに、役場庁舎に SDGs コーナーを設置
 - 小学生を対象とした環境学習出前講座の実施

■ 今後の主な取組

- ・ 食品資源循環事業(学校給食残渣等の肥料化)など廃棄物焼却量減少に係る取組の実施
- ・ 地域新電力会社設置に向けた実施体制構築事業(環境省令和 3 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 採択事業)など町内の再エネ推進に係る取組の実施
- ・ 「上下流連携による木材利用等促進コンソーシアム」スキームを活用したカーボンオフセット事業の検討
- ・ 庁舎等の設備更新における高性能設備導入の検討

最新の取組 令和 3 年 7 月 19 日からスタート
ペットボトル回収拠点の設置

ペットボトルは資源であるにもかかわらず、もえるごみとして廃棄される例が後を絶たないことから、月 1 回の収集日のみならずいつでも廃棄可能な回収拠点を「田原本町役場本庁舎」に設置しました。



町民のリサイクルに対する行動変容を促し、廃棄物焼却量減少に繋げ、脱炭素社会の実現に貢献するものです。

お問い合わせ先:環境未来推進課 TEL 0744-32-2901(内線 613)